

株式会社コンサドーレ 御中

ユニフォーム寄贈の御礼

この度は「世界の笑顔のために」プログラムを通して、コンサドーレ札幌のユニフォームを寄贈頂き誠にありがとうございました。私がチームの発足から見てきた地元チームという事もあり、大変感慨深く受け取らせて頂きました。

先日、Jリーグの公式戦を延期するとのニュースを拝見しました。現在日本では新型コロナウイルスへの対応などで、コンサドーレ札幌としても多大なご努力をされている最中ではないかと思えます。マラウイでは現在のところウイルス感染者の報告はないものの、アフリカ諸国でも流行の兆しを見せており、国内ニュースで毎日取り上げられています。今世界で流行している新型コロナウイルスの一日も早い収束を祈っております。

今回寄贈先となりました私の任地は、アフリカのマラウイ共和国南部にある国内第2の都市、ブランタイヤ市にあるブランタイヤ・セカンダリースクール(中高等学校)になります。

アフリカでもサッカー(フットボール)は男の子に人気のスポーツで、マラウイにおいてもダントツ No.1 の人気です(ちなみに女の子に人気のスポーツはネットボールです)。公立校の中では国内トップレベルの全寮制の学校となりますが、部活動に回される経費は無く、ユニフォームや用具は生徒の自費で賄われています。

今回多くのユニフォームを寄贈頂いた事で、試合では控え選手もユニフォームが着用でき、チームの一体感やモチベーションがかなり上がったように感じております。ここの生徒達にとって、頂いたユニフォームのような上質なものを着用してサッカーをやる事はなかなかありません(このクオリティであれば普段着として使われると思います)。ユニフォーム自体のコンディションも良く、しっかりとしておりますので、長く利用できるのではないかと考えています。本校の生徒は他校に比べて物静かで日頃はしゃがないのですが、皆珍しくとても喜んでいました。

今回の寄贈品を生徒達に渡す前に、コンサドーレ札幌のチーム紹介をしつつ、YouTube で公開している試合のハイライト動画などを生徒と一緒に見させて頂きました。私の地元チームですので、北海道の事やチームの歴史などもお話しする事ができました。

今後もコンサドーレ札幌とマラウイのような途上国との間に良い繋がりが続いていく事と、将来、マラウイの選手がコンサドーレ札幌のユニフォームを着てJリーグのピッチに立つような素敵な機会がある事を期待しております。

改めて、この度はユニフォームをご寄贈頂き、ありがとうございました。

JICA 海外協力隊 2018 年度 2 次隊

PC インストラクター

上杉 祐介

Blantyre Secondary School

Private Bag 10, Blantyre, Malawi